

## 2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月14日

上場会社名 株式会社チームスピリット 上場取引所 東  
 コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻島 浩司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートディビジョンリーダー (氏名) 中野 智裕 TEL 03-4577-7510  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第1四半期の連結業績（2019年9月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	552	-	44	-	43	-	14	-
2019年8月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 15百万円 (-%) 2019年8月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	0.91	0.90
2019年8月期第1四半期	-	-

(注) 2020年8月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	2,434	1,203	49.5
2019年8月期	-	-	-

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 1,203百万円 2019年8月期 -百万円

(注) 2020年8月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年8月期第1四半期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年8月期	-	-	-	-	-
2020年8月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	-	250	-	245	-	115	-	7.30

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年8月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期の増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期1Q	16,191,200株	2019年8月期	15,756,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	276株	2019年8月期	246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期1Q	16,045,877株	2019年8月期1Q	15,613,939株

(注) 当社は2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	2
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	3
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	3
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(追加情報) .....	5

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,900,757
売掛金	17,595
前渡金	163,497
その他	35,173
貸倒引当金	△218
流動資産合計	2,116,805
固定資産	
有形固定資産	88,933
無形固定資産	250
投資その他の資産	228,684
固定資産合計	317,868
資産合計	2,434,674
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	10,785
未払法人税等	17,770
繰延収益	1,012,950
その他	189,333
流動負債合計	1,230,840
負債合計	1,230,840
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	797,854
資本剰余金	787,854
利益剰余金	△380,943
自己株式	△425
株主資本合計	1,204,339
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△505
その他の包括利益累計額合計	△505
純資産合計	1,203,833
負債純資産合計	2,434,674

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	552,754
売上原価	212,069
売上総利益	340,685
販売費及び一般管理費	296,377
営業利益	44,307
営業外収益	
雑収入	90
営業外収益合計	90
営業外費用	
支払利息	121
為替差損	774
営業外費用合計	895
経常利益	43,502
特別損失	
固定資産除却損	11,220
特別損失合計	11,220
税金等調整前四半期純利益	32,282
法人税、住民税及び事業税	12,383
法人税等調整額	5,254
法人税等合計	17,637
四半期純利益	14,644
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,644

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	14,644
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	440
その他の包括利益合計	440
四半期包括利益	15,084
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	15,084

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社は、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりであります。

## 1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 TeamSpirit Singapore Pte.Ltd.

## 2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。

## 4. 会計方針に関する事項

## (1) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

## ①有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物附属設備 8～15年

工具、器具及び備品 3～15年

## ②無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づいております。

## (2) 重要な引当金の計上基準

## ①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

## ②賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

## (3) 重要な収益の計上基準

## ①ライセンス

契約に基づく利用期間にわたって収益を認識しております。

## ②プロフェッショナルサービス

契約に基づく役務の提供が完了した時点又はサービス提供期間にわたって収益を認識しております。

なお、顧客から收受した対価のうち、上記の収益認識基準を満たさないものについては、「繰延収益」勘定に計上しております。

## (4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、四半期連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産及び負債は、四半期連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は、期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めております。

- (5) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。
- (6) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項  
消費税等の会計処理  
税抜方式によっております。